

平成234年度採択プログラム 中間評価調書(案)

博士課程教育リーディングプログラム プログラムの概要 [公表。ただし、項目13については非公表]

機関名		整理番号						
1. 全体責任者 (学長)	※共同実施のプログラムの場合は、全ての構成大学の学長について記入し、取りまとめを行っている大学(連合大学院によるもの場合は基幹大学)の学長名に下線を引いてください。 (ふりがな) 氏名・職名							
2. プログラム責任者	(ふりがな) 氏名・職名							
3. プログラム コーディネーター	(ふりがな) 氏名・職名							
4. 類型								
5.	プログラム名称							
	英語名称							
	副題							
6. 授与する博士 学位分野・名称								
7. 主要分科	(①) (②) (③)		※ 複合領域型は太枠に主要な分科を記入					
8. 主要細目	(①) (②) (③)		※ オンリーワン型は太枠に主要な細目を記入					
9. 専攻等名 (主たる専攻等がある場合は下線を引いてください。)								
10. 共同教育課程を設置している場合の共同実施機関名								
11. 連合大学院として参画している場合の共同実施機関名								
12. 連携先機関名(他の大学等と連携した取組の場合の機関名、研究科専攻等名)								
13. 経費(単位:千円)千円未満は切り捨てる (※ 平成234,245年度は実績額、平成256年度は交付決定額、平成267年度以降は申請予定額 ※共同実施の場合、()内に共同実施機関で使用する金額、< >内に申請金額全体に占める割合(%)をそれぞれ記載してください。)								
年度(平成)	234	245	256	267	278	289	2930	合計
金額(千円)	()	()	()	()	()	()	()	0
(%)	()	()	()	()	()	()	()	0
	< >	< >	< >	< >	< >	< >	< >	>

(機関名: 類型: プログラム名称:)

リーダーを養成するプログラムの概要、特色、優位性

(広く産学官にわたりグローバルに活躍するリーダー養成の観点から、本プログラムの概要、特色、優位性を記入してください。)

学位プログラムの概念図

(優秀な学生を俯瞰力と独創力を備え広く産学官にわたりグローバルに活躍するリーダーとして養成する観点から、コースワークや研究室ローテーションなどから研究指導、学位授与に至るプロセスや、産学官等の連携による実践性、国際性ある研究訓練やキャリアパス支援、国内外の優秀な学生を獲得し切磋琢磨させる仕組み、質保証システムなどについて、学位プログラムの全体像と特徴が分かるようにイメージ図を書いてください。なお、共同実施機関及び連携先機関があるものについては、それらも含めて記入してください。)

平成2-3-4年度採択プログラム 中間評価調書(案)

博士課程教育リーディングプログラム 中間評価調書

I. リーダーを養成する学位プログラムの確立

以下1.～4.について適宜定量的な指標を活用するなどして、具体的かつ明確、簡潔に記入してください。なお、記入にあたっては申請時と比較して達成された点とされていない点が明確となるよう留意してください。

1. 優秀な学生をグローバルに活躍するリーダーへと導く一貫した学位プログラムが整備されているか(プログラムの整備)

(優秀な学生を俯瞰力と独創性を備えたリーダーへと導く一貫した学位プログラムが整備されているか、プログラムの構築に当たり産業界等外部の意見をどのように取り入れているかという観点も含め具体的に記入してください。)

2. コースワークや複数専攻制、研究室ローテーションをはじめ教育指導の内容が広範かつ体系的に整備されているか(カリキュラムの整備)

(プログラムの人材養成目的に応じた幅広い知識を学生が実質的に修得できる工夫がなされているかという点も含め具体的に記入してください。)

3. 専門分野の枠を超えて第一級の教員と緊密に議論するなど充実した研究指導が行われているか（研究指導の充実）

（学生が専門分野のみならずその枠を超えた分野も含め、俯瞰力と独創力を養成する研究指導も行われているかという点についても記入してください。）

4. 優秀な学生が主体的に学内外で切磋琢磨し刺激し合う魅力的な取組が行われているか（切磋琢磨し合う取組の実施）

（学生が主体的に独創的な研究等を計画、実践できる工夫がなされているか、学生が学修研究に専念できる組織的支援が構築されているかという点も含め具体的に記入してください。）

Ⅱ. 産学官民参画による修了者のグローバルリーダーとしての成長及び活躍の実現性

以下の1.～5.について適宜定量的な指標を活用するなどして、具体的かつ明確、簡潔に記入してください。なお、記入にあたっては申請時と比較して達成された点とされていない点が明確となるよう留意してください。

1. 学生が俯瞰力や独創力等の汎用力を身に付けることができる見通しが得られているか（汎用力の育成）
（プログラム申請時に掲げた学生が修得すべき能力についていかなる指標を持って測り、学生を育成しているのかという観点から具体的に記入してください。）

2. 産学官民等の機関等が改革理念を共有しプログラムに積極的に参画しているか（外部機関の参画）

3. 修了者が各界のリーダーとしてグローバルに活躍する多様で具体的なキャリアパスの見通しを提示できているか（キャリアパスの見通し）

（修了生のキャリアパスの多様性について、プログラム開始前と比較した目標（特にアカデミア以外にどの程度輩出するか）を含めて記入してください。また、本プログラムの修了者がある場合についてはその就職先についても記入してください。）

4. 共同研究やインターンシップをはじめ実践性を備えた効果的な研究訓練等が行われ、各学生に対して産学官民等の各界より高い評価が得られているか（学生への外部からの評価）

5. 修了者の社会での活躍状況を長期にわたり把握する仕組みの構築に向けて具体的な取組に着手しているか（把握手法の構築）

Ⅲ. グローバルに活躍するリーダーを養成する指導体制の整備

以下1.～5.について適宜定量的な指標を活用するなどして、具体的かつ明確、簡潔に記入してください。なお、記入にあたっては申請時と比較して達成された点とされていない点が明確となるよう留意してください。

1. 国内外の多様なセクターから第一級の教員を結集した密接な指導体制や、メンターやTAの活用をはじめ組織的な支援体制が構築されているか（指導体制の構築）

（学生1人当たりの指導教員数（プログラム担当者）、産業界経験のあるプログラム担当者数も含め具体的に記入してください。）

2. プログラム担当者、それ以外の学生の指導教員等の学内関係者のみならず、大学全体として改革理念を共有し共通理解をもって改革を推進・協力しているか（改革意識の共有）

3. 外国人学生・教員との関わり及び外国語の使用等によるグローバルな教育研究・生活環境が確保されているか（グローバルな環境整備）

4. 卓越した海外機関との連携・交流により国際競争力ある国際ネットワークが形成されているか（国際ネットワークの形成）

5. プログラムにおける教育活動の状況

本学位プログラムの教育活動について記入してください。

(各年度 3 月 31 日現在)

区分	平成 234 年度	平成 245 年度	平成 256 年度
(1) 主専攻以外の分野の授業等の履修（1人当たり）	回	回	回
(2) プロジェクト形式による授業や課題（1人当たり）	回	回	回
(3) 研究室ローテーション ※名称は問わない（1人当たり）	研究室	研究室	研究室
(4) 企業へのインターンシップ派遣者数（国内）	人 (人)	人 (人)	人 (人)
(5) 企業へのインターンシップ派遣者数（海外）	人 (人)	人 (人)	人 (人)
(6) 官公庁へのインターンシップ派遣者数	人	人	人
(7) NPO等へのインターンシップ派遣者数	人	人	人
(8) 国際機関等へのインターンシップ派遣者数	人	人	人
(9) 海外大学等への派遣者数	人	人	人
(10) 学生の学会発表数	件 (件)	件 (件)	件 (件)
(11) プログラムに参画する企業数	件 (件)	件 (件)	件 (件)
(12) プログラムに参画する官公庁数	件	件	件
(13) プログラムに参画するNPO等数	件	件	件
(14) プログラムに参画する国際機関数	件	件	件
(15) 共同研究の実施件数（企業数）	件 (件)	件 (件)	件 (件)
(16) 共同研究の実施件数（国際機関等）	件 (件)	件 (件)	件 (件)
(17) 共同研究の実施件数（大学・研究機関）	件 (件)	件 (件)	件 (件)
(18) 学生の論文発表数	件	件	件
(19) 上記(18)のうち、レフェリー付き論文発表数	件	件	件
(20) 上記(18)のうち、外国語で作成した論文の発表数	件	件	件
(21) 企業等からの経済的支援の受入件数	件	件	件

※（3）研究室ローテーションは、一人あたりの平均件数を記入してください。また、学生自身の所属研究室については件数に含めないでください。

※（4）「企業へのインターンシップ派遣者数（国内）」及び（5）「企業へのインターンシップ派遣者数（海外）」については、本プログラムにおいて、企業に派遣した学生数を記入してください。括弧内には1ヶ月以上のインターンシップについて内数を記入してください。

※（10）「学生の学会発表数」については、括弧内に国外かつ外国語で行われた学会での発表数についての内数を記入してください。

※（11）「プログラムに参画する企業数」については、括弧内に国外の企業数について内数で記入してください。

※（15）「共同研究の実施件数（企業数）」～（17）「共同研究の実施件数（大学・研究機関）」については、括弧内に国外との共同研究実施件数についての内数を記入してください。

(機関名： 類型： プログラム名称：)

IV. 優秀な学生の獲得

以下1.～3.について適宜定量的な指標を活用するなどして、具体的かつ明確、簡潔に記入してください。
 なお、記入にあたっては申請時と比較して達成された点とされていない点が明確となるよう留意してください。

1. 多様な背景を持つ優秀な学生が獲得できているか（優秀な学生の獲得）

（優秀な学生を集めるための工夫及び優秀な学生を選抜するための工夫並びにプログラム受講生の多様性（女性、留学生、他大学出身者、社会人学生などの状況）などがプログラムに与える人材養成面の効果も含め、記入してください。）

2. 学位プログラムの学生数等

①プログラムの応募学生数、合格者数及び受講学生数

本学位プログラムの過去3年間のリーディングプログラム応募学生数等について記入してください。

（各年度3月31日現在（ただし平成27年度は提出日現在））

プログラムの応募学生数、合格者数、受講学生数		平成2- 3 -4年度	平成2-4-5年度	平成2- 5 -6年度	平成27年度 *（今後の募集予定： 有・無）
プログラム募集定員数（実数）		人	人	人	人
① 応募学生数	応募学生数	人	人	人	人
	うち女性数	人	人	人	人
	うち留学生数	人	人	人	人
	うち自大学出身者数	人[人]	人[人]	人[人]	人[人]
	うち他大学出身者数	人[人]	人[人]	人[人]	人[人]
うち社会人学生数	人[人]	人[人]	人[人]	人[人]	
② 合格者数	合格者数	人	人	人	人
	うち女性数	人	人	人	人
	うち留学生数	人	人	人	人
	うち自大学出身者数	人[人]	人[人]	人[人]	人[人]
	うち他大学出身者数	人[人]	人[人]	人[人]	人[人]
うち社会人学生数	人[人]	人[人]	人[人]	人[人]	
③ ②のうち 受講学生数	受講学生数	人	人	人	人
	うち女性数	人	人	人	人
	うち留学生数	人	人	人	人
	うち自大学出身者数	人[人]	人[人]	人[人]	人[人]
	うち他大学出身者数	人[人]	人[人]	人[人]	人[人]
うち社会人学生数	人[人]	人[人]	人[人]	人[人]	
プログラム合格倍率（①応募学生数/②合格者数）（小数点第二位を四捨五入）					

※ ①②③の「うち自大学出身者数」「うち他大学出身者数」「うち社会人学生数」の「[]」には留学生数を内数で記入してください。

※ *平成27年度については今後の募集予定について有・無のいずれかを選択するとともに、有の場合は募集予定人数・時期を下記備考欄へ記載してください。

【備考】

②学位プログラムの受講学生数

各年度における本学位プログラムの受講学生数を記入してください。

(各年度3月31日現在 (ただし平成27年度は提出日現在))

学位プログラムの 受講学生数		受講学生数					
		うち女性数	うち留学生 数	<u>うち自大学 出身者数</u>	うち他大学 出身者数	うち社会人 学生数	
平成 23 <u>24</u> 年度	M1 (D1)	人	人	人	人[]	人[]	人[]
	M2 (D2)	人	人	人	人[]	人[]	人[]
	D1 (D3)	人	人	人	人[]	人[]	人[]
	D2 (D4)	人	人	人	人[]	人[]	人[]
平成 24 <u>25</u> 年度	M1 (D1)	人	人	人	人[]	人[]	人[]
	M2 (D2)	人	人	人	人[]	人[]	人[]
	D1 (D3)	人	人	人	人[]	人[]	人[]
	D2 (D4)	人	人	人	人[]	人[]	人[]
	D3 (D5)	人	人	人	人[]	人[]	人[]
平成 25 <u>26</u> 年度	M1 (D1)	人	人	人	人[]	人[]	人[]
	M2 (D2)	人	人	人	人[]	人[]	人[]
	D1 (D3)	人	人	人	人[]	人[]	人[]
	D2 (D4)	人	人	人	人[]	人[]	人[]
	D3 (D5)	人	人	人	人[]	人[]	人[]
<u>平成27年度</u>	<u>M1</u> <u>(D1)</u>	人	人	人	人[]	人[]	人[]
	<u>M2</u> <u>(D2)</u>	人	人	人	人[]	人[]	人[]
	<u>D1</u> <u>(D3)</u>	人	人	人	人[]	人[]	人[]
	<u>D2</u> <u>(D4)</u>	人	人	人	人[]	人[]	人[]
	<u>D3</u> <u>(D5)</u>	人	人	人	人[]	人[]	人[]

※ 「うち自大学出身者数」「うち他大学出身者数」「うち社会人学生数」の [] には留学生数を内数で記入してください。

(備考)

3. 学生が学修研究に専念できる経済的支援を実施しているか（経済的支援の実施）

（奨励金、TA・RAなどの支援に加え、大学独自予算による授業料減免などの支援を実施している場合はそれも含め記入してください。）

4. 奨励金等の経済的支援の受給状況

本学位プログラムの対象学生の経済的支援の受給状況について記入してください。

（各年度3月31日現在）

	平成2- 3 -4年度	平成2-4-5年度	平成2- 5 -6年度
奨励金受給学生数	人	人	人
TAとして採用している学生数	人	人	人
RAとして採用している学生数	人	人	人

V. 世界に通用する確かな学位の質保証システム

以下の1. ~2. について適宜定量的な指標を活用するなどして、具体的かつ明確、簡潔に記入してください。なお、記入にあたっては申請時と比較して達成された点とされていない点が明確となるよう留意してください。

1. グローバルに活躍するリーダーとなるに相応しい資質能力を保証する開かれた学位審査体制が構築されているか（学位審査体制の構築）

（プログラムが独自に学位を出せる仕組みとなっているかという点も含め具体的に記入してください。）

2. Qualifying Examination など修得能力を包括評価する確かな質保証システムが構築されているか（質保証システムの構築）

（大学院設置基準第16条の2に定める博士論文研究基礎力審査を導入しているかという点も含め具体的に記入してください。）

VI. 事業の定着・発展

以下の1.～3.について適宜定量的な指標を活用するなどして、具体的かつ明確、簡潔に記入してください。なお、記入にあたっては申請時と比較して達成された点とされていない点が明確となるよう留意してください。

1. 学長を中心とした責任あるマネジメント体制が構築されているか（マネジメント体制の構築）

2. 客観的な数値目標の設定や外部評価体制等が的確で、採択プログラムの検証・改善が図られているか（PDCAサイクルの構築）

（客観的な数値目標を設定している場合には、その設定根拠を含めて記入してください。また、大学による自己点検評価や外部評価を実施している場合は、その評価の概要について記入してください。）

3. 支援期間終了後の学位プログラムの定着・発展に向けて、具体的な取組に着手しているか。また、それに加えて、採択プログラムに参画していない研究科や専攻も含め大学院全体として学位プログラムの導入に向けた具体的な取組に着手しているか（定着・発展のための取組状況）
（教育面、財政面、体制面から具体的に記入してください。）

VII. 審査結果の留意事項・フォローアップの指摘事項への対応

審査結果の留意事項及びフォローアップの指摘事項への適切な対応について

- ・ 審査結果の留意事項及び参考意見について適切な対応がなされているか
- ・ 現地視察報告書（平成23年度までの名称：フォローアップ報告書）の意見について適切な対応がなされているか
- ・ POフォローアップ報告書の課題・意見等について大学として検討・対応がなされているか

について、具体的かつ明確、簡潔に記入してください。

審査結果の留意事項及び参考意見	対応

現地視察報告書の意見	対応

P0 フォローアップ報告書の課題・意見等	検討・対応

平成234年度採択プログラム 中間評価調書(案)

博士課程教育リーディングプログラム 経費関係調書

<平成234年度>

年度の事業計画実施内容

※ 当該年度に本補助金を充当して実施した事業の具体的内容について記入

(補助金は適切かつ効果的に使用されたか(各経費(物品費、人件費・謝金、旅費、その他)についての使用目的、必要性について、具体的かつ明確、簡潔に記入すること。)

(機関名: 類型: プログラム名称:)

経費の明細			
<p>・申請(基幹)大学で使用した経費と共同実施機関で使用した経費を区分して記入してください。</p> <p>・平成234年度は10月～3月の半年分の経費について記入してください。</p> <p style="text-align: center;">〔 記入例: 研究打ち合わせ旅費 〇〇人×@〇〇円 〇〇千円 資料整理謝金 〇人×〇日×@〇〇円 〇〇千円 〕</p>			
<平成234年度実績> 経費区分	金額(千円)		備考
	申請大学での 使用金額	共同実施機関 での使用金額	
【物品費】	0	0	
①設備備品費	0	0	
②消耗品費	0	0	
【人件費・謝金】	0	0	
①人件費	0	0	
②謝金	0	0	
【旅費】	0	0	
【その他】	0	0	
①奨励金	0	0	
②外注費	0	0	
③印刷製本費	0	0	
④会議費	0	0	
⑤通信運搬費	0	0	
⑥光熱水料	0	0	
⑦その他(諸経費)	0	0	
(平成234年度) 合計	0	0	

(機関名: 種類: プログラム名称:)

<平成245年度>

年度の事業計画実施内容

※ 当該年度に本補助金を充当して実施した事業の具体的内容について記入

(補助金は適切かつ効果的に使用されたか(各経費(物品費、人件費・謝金、旅費、その他)についての使用目的、必要性について、具体的かつ明確、簡潔に記入すること。)

(機関名: 類型: プログラム名称:)

経費の明細			
<p>・申請(基幹)大学で使用した経費と共同実施機関で使用した経費を区分して記入してください。</p> <p>〔 記入例:研究打ち合わせ旅費 ○○人×@○○円 ○○千円 資料整理謝金 ○人×○日×@○○円 ○○千円 〕</p>			
<平成245年度実績> 経費区分	金額(千円)		備考
	申請大学での 使用金額	共同実施機関 での使用金額	
【物品費】	0	0	
①設備備品費	0	0	
②消耗品費	0	0	
【人件費・謝金】	0	0	
①人件費	0	0	
②謝金	0	0	
【旅費】	0	0	
【その他】	0	0	
①奨励金	0	0	
②外注費	0	0	
③印刷製本費	0	0	
④会議費	0	0	
⑤通信運搬費	0	0	
⑥光熱水料	0	0	
⑦その他(諸経費)	0	0	
(平成245年度) 合計	0	0	
		0	

(機関名: 種類: プログラム名称:)

<平成256年度>

年度の事業計画実施内容

※ 当該年度に本補助金を充当して実施した事業の具体的内容について記入

(補助金は適切かつ効果的に使用されたか(各経費(物品費、人件費・謝金、旅費、その他)についての使用目的、必要性について、具体的かつ明確、簡潔に記入すること。)

(機関名: 類型: プログラム名称:)

経費の明細

・申請(基幹)大学で使用した経費と共同実施機関で使用した経費を区分して記入してください。

〔 記入例: 研究打ち合わせ旅費 ○○人×@○○円 ○○千円
資料整理謝金 ○人×○日×@○○円 ○○千円 〕

<平成256年度実績> 経費区分	金額(千円)		備考
	申請大学での 使用金額	共同実施機関 での使用金額	
【物品費】	0	0	
①設備備品費	0	0	
②消耗品費	0	0	
【人件費・謝金】	0	0	
①人件費	0	0	
②謝金	0	0	
【旅費】	0	0	
【その他】	0	0	
①奨励金	0	0	
②外注費	0	0	
③印刷製本費	0	0	
④会議費	0	0	
⑤通信運搬費	0	0	
⑥光熱水料	0	0	
⑦その他(諸経費)	0	0	
(平成256年度) 合計	0	0	
		0	

(機関名: 種類: プログラム名称:)

<p><平成267年度></p> <p>年度の事業計画</p> <p>※ 当該年度に本補助金を充当して実施する事業の具体的内容について記入</p> <p>(補助金は適切かつ効果的に使用することが計画されているか(各経費(物品費、人件費・謝金、旅費、その他)についての使用目的、必要性について、具体的かつ明確、簡潔に記入すること。)</p>

<p>経費の明細</p> <ul style="list-style-type: none"> 申請できる経費は、本事業計画の遂行に必要な経費です。 用途は博士課程教育リーディングプログラムの目的に限定されます。 申請(基幹)大学で使用する経費と共同実施機関でを使用した経費を区分して記入してください。 <p>(記入例: 研究打ち合わせ旅費 ○○人×@○○円 ○○千円 資料整理謝金 ○人×○日×@○○円 ○○千円)</p>
--

<平成267年度計画> 経費区分	金額(千円)		備考
	申請大学での 使用金額	共同実施機関 での使用金額	
【物品費】	0	0	
【人件費・謝金】	0	0	
【旅費】	0	0	
【その他】	0	0	
(平成267年度) 合計	0	0	

(機関名: 類型: プログラム名称:)

<p><平成278年度></p> <p>年度の事業計画</p> <p>※ 当該年度に本補助金を充当して実施する事業の具体的内容について記入</p> <p>(補助金は適切かつ効果的に使用することが計画されているか(各経費(物品費、人件費・謝金、旅費、その他)についての使用目的、必要性について、具体的かつ明確、簡潔に記入すること。)</p>

<p>経費の明細</p> <ul style="list-style-type: none"> 申請できる経費は、本事業計画の遂行に必要な経費です。 用途は博士課程教育リーディングプログラムの目的に限定されます。 申請(基幹)大学で使用する経費と共同実施機関でを使用した経費を区分して記入してください。 <p>(記入例: 研究打ち合わせ旅費 ○○人×@○○円 ○○千円 資料整理謝金 ○人×○日×@○○円 ○○千円)</p>
--

<平成278年度計画> 経費区分	金額(千円)		備考
	申請大学での 使用金額	共同実施機関 での使用金額	
【物品費】	0	0	
【人件費・謝金】	0	0	
【旅費】	0	0	
【その他】	0	0	
(平成278年度) 合計	0	0	

(機関名: 類型: プログラム名称:)

<p><平成289年度></p> <p>年度の事業計画</p> <p>※ 当該年度に本補助金を充当して実施する事業の具体的内容について記入</p> <p>(補助金は適切かつ効果的に使用することが計画されているか(各経費(物品費、人件費・謝金、旅費、その他)についての使用目的、必要性について、具体的かつ明確、簡潔に記入すること。)</p>

<p>経費の明細</p> <ul style="list-style-type: none"> 申請できる経費は、本事業計画の遂行に必要な経費です。 使途は博士課程教育リーディングプログラムの目的に限定されます。 申請(基幹)大学で使用する経費と共同実施機関で使った経費を区分して記入してください。 <p>(記入例: 研究打ち合わせ旅費 〇〇人×@〇〇円 〇〇千円 資料整理謝金 〇人×〇日×@〇〇円 〇〇千円)</p>
--

<平成289年度計画> 経費区分	金額(千円)		備考
	申請大学での 使用金額	共同実施機関 での使用金額	
【物品費】	0	0	
【人件費・謝金】	0	0	
【旅費】	0	0	
【その他】	0	0	
(平成289年度) 合計	0	0	

(機関名: 類型: プログラム名称:)

<平成2930年度>
年度の事業計画
 ※ 当該年度に本補助金を充当して実施する事業の具体的内容について記入
 (補助金は適切かつ効果的に使用することが計画されているか(各経費(物品費、人件費・謝金、旅費、その他)についての使用目的、必要性について、具体的かつ明確、簡潔に記入すること。)

経費の明細
 ・申請できる経費は、本事業計画の遂行に必要な経費です。
 ・使途は博士課程教育リーディングプログラムの目的に限定されます。
 ・申請(基幹)大学で使用する経費と共同実施機関でを使用した経費を区分して記入してください。

(記入例: 研究打ち合わせ旅費 ○○人×@○○円 ○○千円
 資料整理謝金 ○人×○日×@○○円 ○○千円)

<平成2930年度計画> 経費区分	金額(千円)		備考
	申請大学での 使用金額	共同実施機関 での使用金額	
【物品費】	0	0	
【人件費・謝金】	0	0	
【旅費】	0	0	
【その他】	0	0	
(平成2930年度) 合計	0	0	

(機関名: 類型: プログラム名称:)